

平成25年度(平成26年産)麦類作況試験生育状況(古川農試)[4月10日調査結果]

1. 供試品種および耕種概要

・供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおばの恋	シラネコムギ ゆきちから

- ・播種期：設定日 10月20日（25年度播種日 10月28日）
- ・播種量：0.9kg/a（ドリル播き，条間25cm）
- ・施肥：尿素燐加安777号
(N : 0.8kg/a, P₂O₅ : 0.8kg/a, K₂O : 0.8kg/a)

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6kg/a
- ・排水対策：明渠，暗渠及び弾丸暗渠2.0m間隔
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目（前作水稻）

2. 気象概況[3月下旬～4月上旬](表1, 図1)

- ・平均気温は，3月下旬～4月第1半旬は高温傾向で経過したが，4月第2半旬はやや低温となった。
- ・降水量は，3月第6半旬と4月第1半旬にまとまった降雨があり，平年比を大きく上回った。4月第2半旬は降雨がなかった。
- ・日照時間は，期間を通じて多照傾向で経過した。特に4月第2半旬は平年比140%と多照であった。

表1 気象経過(3/21～4/10)[大崎市古川]

	平均気温(°C)		積算降水量(mm)		積算日照時間(hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
3月第5半旬	5.6	1.1	5.5	47%	35.3	125%
3月第6半旬	9.7	4.3	40.5	305%	35.2	100%
4月第1半旬	7.9	1.1	46.5	401%	37.8	122%
4月第2半旬	6.8	-1.2	0.0	0%	42.9	140%

注) 平年差(比)はアメダス平年値との比較

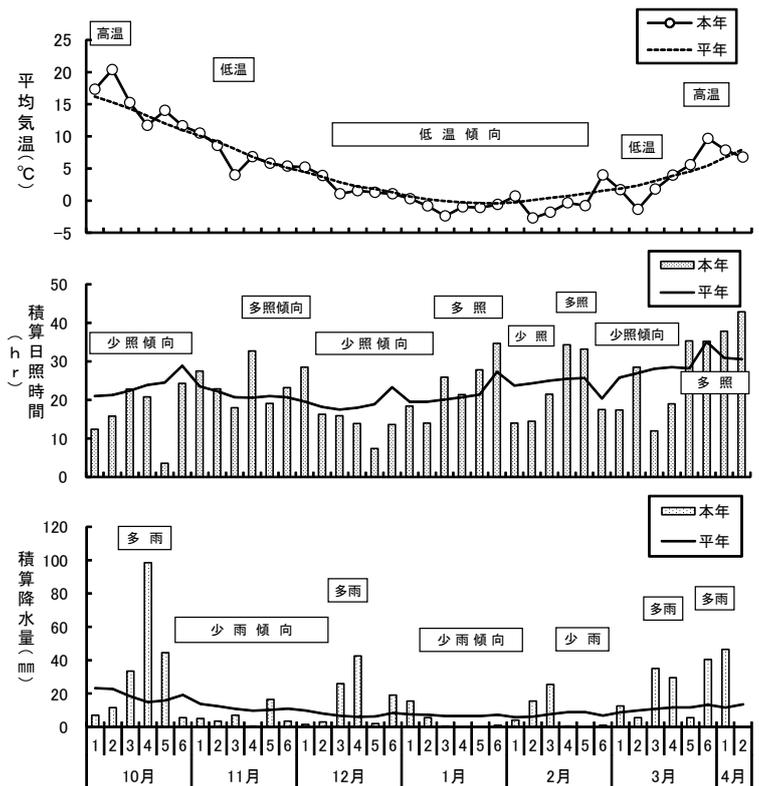


図1 半旬別気象経過(大崎市古川)

3. 生育概況

1) 4月10日現在の生育状況(表2)

- ・播種期前後に降雨が続いたため播種が遅れ，その後の気温も低温傾向で経過したため，越冬後の生育量は平年を大きく下回った。
- ・3月下旬～4月第1半旬が高温傾向で経過したことから，各品種とも生育は回復傾向だが，依然として生育量は全般に平年を下回っている。
- ・草丈，茎数は平年の8割程度となっており，葉数，幼穂長も平年を下回っている。
- ・大麦でもまだ茎立期（主稈長2cm）に達しておらず，生育ステージは平年より遅れている。

2) 減数分裂期，出穂期の見込み(表2)

- ・4月12日～5月11日の天候予測（東北地方1か月予報，仙台管区气象台発表）では，向こう1か月の平均気温は平年並または低い確率が高くなっている。
- ・減数分裂期は，平年と比べて大麦では6日程度，小麦では2～3日程度遅れる見込みである。
- ・出穂期は，大麦では平年より5日程度遅れる見込み，小麦ではほぼ平年並の見込みである。

表2 麦類生育状況(4月10日現在)

品種	草丈			茎数			葉数			幼穂長		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)
シュンライ	16.0	89	76	883	87	81	7.3	-0.7	-1.6	3.4	-2.0	-5.2
ミノリムギ	17.0	84	84	920	90	84	7.3	-1.0	-1.9	2.6	-2.4	-3.8
あおばの恋	17.3	98	—	603	67	—	6.8	-0.6	—	2.2	-0.8	—
シラネコムギ	17.0	92	81	903	88	88	7.5	-1.1	-1.4	1.8	-0.7	-1.0
ゆきちから	15.5	85	81	776	70	64	7.2	-0.9	-1.5	1.9	-0.4	-1.0

品種	幼穂分化 程度	幼穂形成始期 (月/日)		主稈長 (mm)	茎立期 (月/日)		減数分裂期 (月/日)			出穂期 (月/日)	
		本年	平年		本年	平年	予測値	前年値	平年値	予測値	平年値
シュンライ	IX後～X	3/21	1/23	11.3	—	4/2	4/30	4/28	4/24	5/6	5/1
ミノリムギ	IX中～X	3/21	2/5	11.3	—	4/5	5/2	4/30	4/26	5/10	5/5
あおばの恋	IX前～IX中	3/27	—	9.7	—	—	5/3	5/2	—	5/12	—
シラネコムギ	IX前	3/29	3/15	7.4	—	4/11	5/3	5/4	5/1	5/12	5/12
ゆきちから	VIII～IX前	3/29	3/19	7.5	—	4/15	5/4	5/4	5/1	5/13	5/13

注1) 平年値は過去5か年の平均値。 2) あおばの恋は平成22年度から供試のため平年値はない。

3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。 4) 茎立期: 主稈長2cmに達した日。 5) 減数分裂期: 幼穂長3cmに達した日。

6) 出穂期予測: 主茎幼穂長から予測した出穂期(普及に移す技術第84, 85号, 普及成果情報-東北農業・作物(畑作物栽培))。

7) 減数分裂期予測: 主茎幼穂長から予測した減数分裂期(普及に移す技術第86号)。あおばの恋は暫定値。

※出穂期, 減数分裂期予測には古川アメダス平均気温の平年値を用いた。古川アメダス平年値は1981～2010年の平均値。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X	
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5～0.6	0.6～1.0	1.0～1.2	1.2～4.0	4.0～5.0	
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5～0.7	0.7～1.5	1.5～2.0	2.0～4.0	4.0～5.0	

注) 幼穂分化程度はI～Xの10期に区分されるが, V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。
また, 厳密にはVII期は前・後期に, IX期は前・中・後期に区分されるが省略。

平成25年度(平成26年産) 麦類生育調査ほ生育状況[4月10日調査結果]

表3 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換 年数	排水対策 (明渠、暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	播種様式	条間 (cm)
大河原	シュンライ	大河原町	15	暗渠	11/12	1.0	ドリル播き	29.0
	ミノリムギ	大河原町	15	暗渠	11/15	1.0	ドリル播き	29.5
仙台	シュンライ	大和町	12	明渠、暗渠、弾丸暗渠	10/20	1.0	ドリル播き	27.8
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	3	明渠、暗渠	11/9	1.0	ドリル播き	12.5
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	1	明渠、弾丸暗渠	11/7	1.5	ドリル播き	20.3
	ゆきちから	涌谷町	1	明渠、弾丸暗渠	11/6	1.3	ドリル播き	24.4
登米	あおばの恋	登米市豊里町	7	暗渠	11/13	1.4	ドリル播き	20.0
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	明渠、暗渠、弾丸暗渠	10/29	1.0	ドリル播き	26.0
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	明渠、暗渠	10/30	1.0	ドリル播き	30.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	10年以上	なし	10/10	0.8	ドリル播き	22.5

表4 生育状況(4月10日現在)

担当普及センター	品種名	実施場所	播種期(月/日)	出芽良否	草丈			茎数			幼穂長		
					本年(cm)	前年比(%)	平年比(%)	本年(本/m ²)	前年比(%)	平年比(%)	本年(mm)	前年比(mm)	平年比(mm)
大河原	シュンライ	大河原町	11/12	良	18.8	84	81	643	118	93	6.6	0.9	-1.1
	ミノリムギ	大河原町	11/15	良	15.3	85	69	396	97	55	5.0	2.0	-0.5
仙台	シュンライ	大和町	10/20	良	23.0	-	-	422	-	-	12.5	-	-
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	11/9	やや不良	12.3	64	54	286	35	30	1.1	-1.8	-2.2
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	11/7	良	13.8	118	93	1562	587	219	1.4	0.6	-0.1
	ゆきちから	涌谷町	11/6	良	18.0	132	121	1029	172	145	1.7	0.5	-0.2
登米	あおぼの恋	登米市豊里町	11/13	やや不良	13.3	73	-	253	32	-	1.5	-1.1	
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	10/29	良	17.8	109	93	500	76	66	2.8	0.6	-4.7
	ミノリムギ	石巻市桃生町	10/30	良	18.3	133	116	543	112	75	2.3	0.2	-0.4
	シラネコムギ	石巻市小船越	10/10	良	20.5	102	88	1336	81	99	2.1	-1.8	-0.9

注1) 出芽良否は達観で判断(良, 中, 不良の3段階を基本とする)。

2) 平年比は過去5カ年の平均値との比較。

3) 登米「あおぼの恋」は平成21年から供試のため平年値はない。

4) 仙台「シュンライ」は平成25年度から調査地点が変更となったため、前年値及び平年値はない。

1. 担当普及センターのコメント

1) 大河原

- ・生育量, 幼穂長とも平年より小さい(遅れている)が, 3月下旬から暖かい日が多く, 3月20日調査時点よりは平年に近づいている。
- ・雑草は目立たないが, 気温が上がるにつれて散見され始めている。
- ・病害虫による被害は観察されていない。

2) 仙台

- ・茎数は前回の調査時より減少しているが, 4月に入り天候が回復したことから, 葉の黄化程度は少なくなり, 生育ステージは順調に進んだ。3月25日に茎立ち期を迎えた。
- ・雑草はスズメノテッポウが少し残草している。
- ・減数分裂期は4月20日, 出穂期は4月28日頃と予測される。

3) 大崎

- ・茎数は3月20日調査から約2倍になったが, 平年の30%と少ない。
- ・幼穂長は1mmで, 幼穂形成期に達した。平年より約20日遅い。
- ・3月下旬から4月上旬の降雨では場には適度な水分があり, 昨年多く見られた霜による根上りや過乾燥による枯死はほとんど無かった。

4) 美里

- ・シラネコムギ, ゆきちからともに分けつの発生が盛んで, 茎数は平年を上回った。
- ・両品種ともに目立った雑草はない。
- ・幼穂形成始期は, シラネコムギは4月3日, ゆきちからは4月2日とみられる。

5) 登米

- ・播種日が遅く茎数, 草丈ともに小さい値となっている。
- ・株あたりの分けつ数は4~5本程度である。
- ・幼穂形成始期は4月6日頃とみられる。
- ・調査ほ以外では茎数が1000本/m²を超えているほ場もある。
- ・生育ステージはやや遅れている。

6) 石巻

- ・シュンライでは草丈は短く, 茎数も少ない。
- ・ミノリムギでは草丈は平年より長い, 茎数は少ない。また, スズメノテッポウの発生が目立つ。
- ・シラネコムギでは茎数は平年並である。また, ハコベ等の広葉雑草の発生が見られる。
- ・いずれの品種も幼穂長は平年より短い傾向である。